

令和5年度 森林環境譲与税の用途について

(野々海市)

事業区分	事業名	事業総額 (千円)			事業内容	実績	税導入の効果
		(A) + (B) + (C)	(A) うち令和4年度森林環境譲与税 (千円)	(B) うち基金取崩額 (千円)			
基金積立	森林環境保全基金	6,420	6,420	0	0	木材を利用した公共施設整備及び森林の大切さを普及啓発する事業を実施する事業費を確保するために基金に積み立てるもの。	
木材普及啓発関係	ののいちっ子木育事業	2,973	0	2,973	0	幼少時より木を身近に感じることで、人と木や森の関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むため、新生児の保護者に対し、木製積み木を贈りお祝いするもの。	木製積み木580個作製 (内512個贈呈)
木材普及啓発関係	青少年健全育成地域活動推進事業	1,300	0	1,300	0	野々海市『愛と和 ののいち5万人あいさつ運動』における、木製バッジを全児童・生徒に配布し、子どもたちにSDGsを身近に考えてもらう機会につなげるもの。	木製バッジ7,000個作製
木材普及啓発関係	高齢者見守り事業	330	0	330	0	県産材を活用した案内看板を作製し、避難所での集団生活が困難な高齢者など特別の配慮を必要とする者の避難所となる市内福祉避難所に設置するもの。	案内看板30枚作製

本市は山林がない自治体であることから、本税を公共施設整備及び木材利用啓発推進事業に活用することとして取り組んでいる。
 本年度は、ののいちっ子木育事業を通して、子どもたちが 郷土の山々に対する関心を深め、その周りの大人にとっても、木材の良さと利用の意義を知る機会とすることで、森林の循環利用についての理解促進を図り、持続可能な社会の実現に向け取り組んだ。
 また、青少年健全育成地域活動推進事業として、野々海市『愛と和 ののいち5万人あいさつ運動』における木製バッジを市立小中学校全児童・生徒に配布し、子どもたちに明るいき心をもった挨拶の輪が広がっていくことを目指すとともに、森林の循環等の SDGs 教育の推進に取り組んだ。
 高齢者見守り事業として、市内福祉避難所に県産材を活用した案内看板の設置を行った。
 残額は、今後の公共施設整備及び木材利用啓発推進事業に活用することとし、基金に積み立てた。